

# 台風6号【被害・影響】

## 沖縄 2万戸以上が停電 那覇市で緊急給水



【人的被害】▼NHKが警察や消防に取材したところ、6日午前11時の時点で沖縄県内では台風6号の影響で2人が死亡【※1】、92人がけがをしました。このうち名護市では5日午前10時17分ごろ、海沿いの道路を走っていた乗用車に高波が当たり、運転していた20代の女性が腕に軽いけがをしました。また、5日は、高潮の影響で県内各地で道路が冠水していて、名護市や本部町では運転中の車が2台、動けなくなりました。乗っていた男性3人は、いずれも自力で車の外に脱出し、けがはありませんでした。このほか、那覇市では5日午前、在宅医療を受けている80代の女性が停電のため機器が使えなくなり、病院に搬送されるケースもあったということです。【※1・死亡者2名の内訳】大宜味村では倒壊した車庫の下敷きになり男性が死亡。うるま市では「台風で停電したため、ろうそくを使っていた」という民家で火災があり、女性が死亡した。



【建物の浸水被害】▼沖縄県によりますと、これまでに床上浸水は沖縄市やうるま市などであわせて5件、床下浸水は恩納村で1件確認されています。【土砂崩れ、道路の冠水】読谷村は6日午後0時45分、土砂災害警戒区域で崖崩れが発生したことから読谷村楚辺の一部に「緊急安全確保」を発表しました。また、6日正午ごろ、名護市許田の県道71号線で土砂崩れが起きて通行止めとなっています。けが人はいませんでしたが、復旧のめどは立っていません。このほか、本部町の国道449号線では道路が冠水して車が動けなくなっていました。消防などが道路を通行しないようドライバーに呼びかけていました。【停電】▼沖縄県内では、6日午後5時の時点で2万1350戸が停電しています。(本島中部が1万1080戸、北部9860戸、南部340戸ほか【※2】)【断水】▼停電の影響で那覇市内の一部のマンションなどでポンプが停止し断水していることから、市は6日午後4時まで市民を対象に給水を行っています。

※2. 小規模離島の停電に対処するため、沖縄県は7日、航空自衛隊と第11管区海上保安本部に災害派遣を要請。航空自衛隊那覇ヘリコプター空輸隊がCH47J輸送ヘリを伊是名村と伊平屋村に、11管は渡嘉敷島に那覇基地所属ヘリを飛ばし資機材と作業員を運んだ。

### 物資の輸送船が一週間ぶりに出航 那覇から石垣島と宮古島へ



台風6号の影響が長期化し、特に離島で物資が不足する状況が起きる中、7日午後8時すぎ、那覇から石垣島と宮古島へ向けて、物資を輸送する船がおよそ一週間ぶりに出航しました。再開したのは、那覇と石垣島、宮古島を結ぶ便を運航している「南西海運」です。那覇市港町にある那覇新港では石垣島と宮古島へ向けた2隻の船に、荷物を運ぶコンテナがクレーンで次々と積み込まれました。そして、午後8時すぎに、2隻の船は相次いで出港していきました。台風6号の影響で、海運会社では先月30日の便を最後に欠航が続き物流がストップする状況になっていて、7日はおよそ一週間ぶりの運航となりました。

we support!

RQ 災害教育センター

MONTHLY

「東北に黒糖を送ろう! 大作戦しんぶん」改め

復興支援「すけさきた」

「すけさきた」とは宮城県登米市あたりの言葉で「ボランティアに来たよ」という意味である。

shinbun

AUGUST 11 2023

2023年8月7日 NHK 沖縄 NEWS WEB